

市議会一般質問へ傍聴を!

3月12日午前10時から 笹田議員は午後1時頃

大垣市議会3月議会の一般質問は3月12日午前10時から行われます。私、笹田トヨ子は6番目、午後1時頃に一般質問に立ちます。質問事項は①奥の細道むすびの地記念館整備事業について、②国民健康料の引き下げについて、③北幼保園建設問題の3点を予定しています。是非傍聴においでください。 市議会議員 笹田トヨ子

奥の細道むすびの地記念館整備事業の建設費暴騰

奥の細道むすびの地記念館が完成間際になって、市民の方からいくつかの疑問の声が届けられ、以下の項目について質問します。

- ①奥の細道むすびの地記念館整備事業は当初の計画から見ると建設資金は、大きく増やされました。当初計画と23年度末で費用はどれだけになったのか。またその財源内訳及び増えた理由はなにか。
- ②平成24年度一般会計予算に奥の細道むすびの地記念館関連予算1億4980万円が計上されています。イベント事業6280万円は「芭蕉元祿事業」や「戦略的中心市街地活性化推進事業」と内容が重なっており、2つのPR事業は予算のかけすぎではないか。これだけのお金を投入してどのような経済効果が見込まれるのか。
- ③奥の細道むすびの地記念館に商業スペースを設けた目的は何か。
- ④管理運営費4000万円が計上されているが、その費用の内訳と記念館のランニングコストの説明求めます。又採算は取れるのか。

岐阜県下3番目高い国民健康保険料の引き下げの提案

昨年、国保料が引き上げられ、岐阜県下3番目に高い自治体になってしまいました。「保険給付費の高い伸び」と「国保加入世帯全体の所得の減少」が保険料の値上げに跳ね返っているようです。(昨年の答弁)しかし、国保加入者は払える限界を超えています。これ以上値上げしないために、次の提案を行います。

- ①応能負担の割合を増やし、高額所得者にもっと負担をしてもらってはいかがか。
- ②「資産割」は所得がなくても資産があれば保険料に跳ね返ります。資産割をなくしている自治体があります。資産割の廃止を検討してはいかがか。
- ③値上げしないためには、一般会計からの繰入れも検討してはいかがか。
- ④保険給付費の増加が保険料の値上げの一因になっていますが、特に重症化による高額療養費の増加が大きいと思います。「メタボ保健指導効果あり」という結果がでていました。大垣市の特定健診・保健指導の実態を明らかにしてください。そして、市民が健康を維持し、病気があっても重症化させないための対策を求めます。

北幼保園建設の再検討を!

北幼保園は北保育園と北幼稚園の2園統合で、かさぎ保育園は独立園として存続させる計画であったのが、なぜ3園統合になったのか、改めてその理由を求めます。

300人規模の幼保園、いくつかの問題点

- ①発表会などでは父母などの参加を考えると園児数の2～3倍の人数が入るホールが必要ですが、600人から900人入るスペースは実際には難しいのではないかと。
- ②職員数は50人以上になると予想されます。職員会議や職員研修など職員教育の保証をどう取り付けるのか。
- ③長時間保育の保育園児と短時間保育の幼稚園児、0才児をはじめ3歳児未満児の保育、障がい児保育と多様な保育が行われます。それぞれに適正な集団や生活リズムが異なる中、子ども達の生活と遊びを保障しなければなりません。しかし園全体の規模が大きくなればなるほど、多様な保育形態のなか、子ども一人一人の内面までつかむには、大変なことです。ましてや、障がい児保育の指定園になっているわけで、それぞれの子ども達に適正な発達をどう保障するのか。
- ④災害時の対応について、等の問題点について説明を求めます。

地域の交通問題

多くの園児は車による送迎が予想され、登園降園時は絶えず車の出入りがあり、信号待ちで渋滞も予想されます。小学校の通学路にもなっており、どのように対処されるのか。また、発表会などイベントで保護者が集まった時の駐車スペースをどう確保するのか、交通問題は予想以上に深刻ではないでしょうか。